

試 験 報 告 書

依 頼 者 株式会社 田中金属製作所

一般財団法人

日本食品分析センター

東京都渋谷区元代々木町52番1号



検 体 Bollina Pulito (浄水シャワー)

表 題 浄水シャワーの遊離残留塩素低減能力試験

2016 年(平成 28 年)07 月 08 日当センターに提出された上記検体について試験した結果をご報告いたします。

浄水シャワーの遊離残留塩素低減能力試験

1 依頼者

株式会社 田中金属製作所

2 検体

Bollina Pulito (浄水シャワー)

3 試験概要

JWPAS J(2010)「浄水シャワーに関する規格基準」(一般社団法人 浄水器協会)に示された、JWPAS J. 210「浄水シャワーの試験方法(JWPAS J. 210 2010)」により、遊離残留塩素低減能力を試験した。

4 試験結果

結果を表-1に示した。

表-1 遊離残留塩素低減能力試験結果

通水量 (L)	動水圧 (MPa)	水温 (℃)	遊離残留塩素(mg/L)	
			通過水	試料水
10分間通水後	0.09	38	検出せず	0.99
3000	0.09	41	0.31	1.0
3500	0.09	40	0.06	0.93
4000	0.09	41	0.31	1.1
4500	0.09	40	0.35	1.1
5000	0.09	40	0.37	1.1
5500	0.09	40	0.42	1.0
6000	0.09	40	0.48	0.97
6500	0.09	40	0.39	0.90
7000	0.09	40	0.45	0.90
7500	0.09	40	0.50	0.93
8000	0.09	40	0.53	0.90

定量下限 : 0.05 mg/L

5 試験条件

- 水 : 水道水(東京都多摩市)
- 水の処理 : 活性炭 PMC250-200[クラレケミカル株式会社]
中空糸膜 ステラポア-PK0型[三菱レイヨン株式会社]
- 試料水の設定 : 濃度 1.0 mg/L \pm 0.1 mg/L
水温 40 $^{\circ}$ C \pm 3 $^{\circ}$ C
- 通水条件 : 寿命設定流量 8 L/min
1日の通水時間 5~9時間
- 測定方法 : DPD吸光光度法

以 上